

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果
(幼保連携型認定こども園)

1 評価機関

名 称	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク
所 在 地	千葉県船橋市丸山2丁目10番5号
評価実施期間	令和7年6月1日 ~ 令和7年8月30日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称	ブレーメン実花こども園		
(フリガナ)	ブレーメンミハナコドモエン		
所 在 地	〒275-0001 習志野市東習志野6-7-2		
交通手段	電車・徒歩・自転車 自家用車		
電 話	047-477-4141	F A X	047-409-0124
ホームページ	http://www.bikou.net		
経 営 法 人	社会福祉法人八千代美香会		
開設年月日	平成29年4月1日		
併設しているサービス			

(2) サービス内容

対象地域								
定 員		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	1号定員				5	5	5	15
	2号定員				29	29	29	87
	3号定員	6	10	12				28
敷地面積	5891.36㎡			保育面積			1661.93㎡	
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育	
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援	
健康管理	内科健診(年2回) 歯科検診(年2回) 眼科検診(4・5歳児のみ1回) 視力検査(4・5歳児)							
食 事	自園での昼食・おやつ							
利用時間	7:00~19:00							
休 日	日曜日・祝日・年末年始(12/29~1/3)							
地域との交流	町内会祭り、公民館祭りの参加・福祉施設との交流・保育園、小学校との交流							
保護者会活動	令和5年度をもって保護者会廃止により保護者会活動はなし							

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
		29名	20名	
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含)	看護師	栄養士	
		32名	1名	1名
	保健師	調理師	その他専門職員	
			3名	2名

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	<ul style="list-style-type: none"> ・1号認定（短時間児）は直接園に申し込み ・2号、3号（長時間時）は市役所に申し込み 	
申請窓口開設時間	9：00～17：00	
申請時注意事項		
サービス決定までの時間		
入所相談	窓口設置	
利用代金	ゆうちょ銀行振り込み	
食事代金	短時間児…教育日数×320円 長時間時（幼児）…7,000円	
苦情対応	窓口設置	あり
	第三者委員の設置	設置し掲示

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>教育・保育目標 ◎心身ともに健康な子ども ◎自分の気持ちを表現し意欲的に学び、遊べる子ども 教育・保育方針 ◎子ども一人ひとりを大切にし、その子にあった保育・教育を心がけ、安心して力を充分発揮できる教育・保育を目指しています。 ◎保護者に寄り添い、育児が軽減できるようにしていきます。</p>
<p>特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりが主体的に生き生きと遊び、学べる場を提供し自分で考え・工夫する・失敗成功体験を通して自立していく力を身につける。 ・1号認定（短時間児）と2号認定（長時間児）の子どもが同じクラスで教育・保育が受けられる。 ・高齢者施設との交流 ・子育て支援事業の推進（専門職による育児相談等） ・値域の小学校・保育園との交流
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりのある職員配置 ・各専門職による子育て相談ができる ・園庭が広く、複数のクラスが園庭に出ても十分に身体を動かして遊べる。（異年齢交流ができる） ・自然豊かな園庭で木々も多く、日陰を確保でき気持ち良く過ごせる ・短時間児から長時間児へ、長時間児から短時間児への移行が可能であり、環境を変えず教育・保育が受けられる。 ・園内研修を充実させ、教育、保育を日々振り返り、指導計画のもと、一貫した教育・保育を進めている。 ・職員の意見を尊重し、よりよい職員体制を築き互いに補い合い教育、保育の向上に努めている ・駐車場が充実しているため、遠方からでも通園できる。

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
子ども一人ひとりが大切にされ、生きる力の基礎を育んでいる
子どもを取り巻く環境の中で最も重要なのは「人的環境」であるという認識を職員間で共有している。すべての子どもが一人の人間として尊重され、大人との信頼関係のもとで安心して自己を発揮できるよう、0歳児からの関わりを積み重ねている。また、子どもが主体的に遊びを展開できるよう環境構成を工夫し、集中して遊ぶ中で得られる多様な経験を通して、生きる力の基礎を育んでいる。特に、広々とした自然豊かな園庭は、思い切り体を動かし、繰り返し挑戦し、失敗や成功を経験できる貴重な場となっている。この環境は保護者からも高く評価されており、園の特色の一つとなっている。
「みんなと一緒に楽しく食べること」の実践により協調性や主体性を育てている
食育活動では、保育教諭と栄養士が協働し、年齢や発達に応じた調理体験を計画的に実施している。5歳児はナスやキュウリを包丁で切る調理や「こども園キャンプ」でのカレー作り、4歳児はサンドイッチや収穫したサツマイモでのスイートポテト作りに取り組み、役割分担や協力を通じて達成感を味わっている。給食の最大の目的を「みんなと一緒に楽しく食べること」とし、活動を通じて食卓を囲む楽しさや交流の大切さを実感できるよう工夫している。こうした経験は、食材への親しみを深めるとともに、自分で作って食べる喜びを友だちと共有し、協調性や主体性の育成につながっている。
快適で安全な保育環境の維持に努めている
健康面では、看護師と保育教諭が協力し、歌に合わせた手洗い活動をおこなうなど、子ども自身が衛生管理を身につけられるよう支援している。また、安全な園外活動のため、看護師が事前に公園の危険箇所や遊具の状況を点検し、写真付きの「散歩マップ」を作成している。これにより、保育教諭は子どもの発達段階に応じた公園選びが可能となっており、安全で充実した園外保育が実現している。さらに、「成長・発達の現状チェックリスト」による個別の発達確認や園医による定期健診、日々の健康観察を通じて体調変化を早期に把握している。感染症や体調不良時には、保護者への迅速な連絡と看護スペースでの安静対応を行い、必要に応じて医師や行政機関と連携している。室温・湿度や遊具の衛生管理など環境面にも配慮し、快適で安全な保育環境の維持に努めている。
職員の意見を尊重し反映する風通しの良い組織風土が築かれている
職員会議や保育会議を通じて、職員同士が日頃の保育に関する課題について対話を行う機会が設けられている。テーマは「朝ぐずる子の対応」や「気になる行動への対応」など、現場で実際に直面する内容が選ばれ、職員が持ち回りでテーマの選定と進行を担当している。年次にかかわらず全職員が主体的に参加することにより、互いの考えを共有・深化させる場となっており、良好な人間関係や協働意識の醸成、さらには職員の気づきや学びの促進につながっている。また、現在進められているICTの導入や、外部講師による英語教育(ECC)の開始についても、職員の声を反映して実現されたものであり、現場のニーズを的確に把握し対応する柔軟な体制が整えられている。こうした取り組みは、職員一人ひとりの主体性を育み、保育の質の向上に資するものであるとともに、職員の意見を尊重し反映する風通しの良い組織風土につながっている。
さらに取り組みが望まれるところ
保育の質の向上に向けた学びのあり方等、さらなる取り組みに期待したい
園では、職員の意見を尊重し、話し合いを通じて日々の活動内容を改善していく姿勢が根付いている。また、職員一人ひとりの気づきを共有する体制も整っており、日常の中で課題や改善点を発信できる環境がある。今後の課題として挙げられている「学びや研修の在り方」「充実した話し合いのための内容の吟味」については、時間の確保や運営方法の工夫が求められる。例えば、朝礼の時間を活用し、毎回1分間の「保育実践での気づき」や「子どもの成長の姿」を発表する場を設けることで、職員間で課題や喜びを共有し、必要な会議や研修の質向上や時間確保にもつながられる。こうした小さな積み重ねから、教育及び保育の質の向上や職員の意識の統一へと発展することが期待される。

事故防止に向けた取り組みについては一定の用紙に継続的に記録することを望みたい

誤飲、昼寝、水遊び、散歩等における重大事故防止のため、様々な安全対策を講じている。特に乳幼児突然死症候群(SIDS)予防に力を入れており、家庭との連携を重視している。入園説明会では看護師が保護者に対し、SIDSの概要や予防の重要性について詳しく説明し、あおむけで寝る習慣をつけるよう依頼している。職員に対しては、4月の新入職員研修および11月のSIDS対策強化月間に、午睡チェックの必要性和、0～5歳児すべてのクラスで子どもの顔色が確認できる明るさを確保することを指導している。午睡中は定期的に呼吸・顔色・体位を確認し、記録は安全点検簿や付箋を使用しておこなっているが、「午睡チェック表」や「午睡チェックシステム」などは利用していなかった。睡眠開始・終了時刻や昼寝の様子を継続的に記録することは、表面的には見えにくい子どもの心身の変化や不安に気づく契機ともなるため、導入済みの保育業務支援システムや新たな午睡チェックシートの活用により、記録の標準化と安全管理の更なる徹底が望まれる。

計画的かつ体系的な研修体制の整備を通じて、さらなる学びにつなげたい

八千代市民間保育協議会や習志野市主催の幼保合同研修をはじめとする外部研修への積極的な参加が見られ、職員が研修で得た知識や気づきを日々の保育実践や園内の課題解決に活かそうとする姿勢がうかがえる。特に、園内における慣習(いわゆる「謎ルール」)の見直しにもつながるなど、学びを組織全体に波及させようとする取り組みは期待できる。一方で、年間を通じた体系的な研修計画や、園内研修・外部研修を含めた計画的な育成方針については、さらなる整備が望まれる。とりわけ、キャリア段階に応じた個別の育成目標や到達目標の設定、新人職員に対するOJT項目の明確化と進捗の見える化などを進めることで、研修がより実効性のある学びの機会となることが期待される。計画的かつ体系的な研修体制の構築を通じて、職員の専門性向上と保育の質のさらなる向上につなげていきたい。

(評価を受けて、受審事業者の取組み)

- ・「全体的な計画」の見直しを進めた
- ・朝礼での1分スピーチの導入(エピソードや成長の姿を各クラス順番に行っている)
- ・幼児会議・乳児会議ともにおたがいの会議に一名出席し情報を共有している。
- ・パート人数が多く時間も様々なため、隅々まで情報が伝えきれていない→ノートの活用をしっかりと行っていく。
- ・謎ルールは1回で終わりではなく継続して進めていく。(取り組みの一つとして園庭の時間をきっちり分けずに職員同士声を掛け合い、異年齢で関わり遊ぶような方向になっている)
- ・食育は栽培から収穫そして調理と食育としての一連の流れを継続していく。
- ・午睡チェックは、会議や朝礼で繰り返し声掛け、SIDSの危険性を伝え確認するようにしている。午睡チェックシステムは、今後導入予定(何社か検討進めていく)
- ・AEDや訓練用人形を使っての心肺蘇生法と窒息解除の練習を看護師中心で進めている。
- ・遊具の落下・異物飲み込み・すり抜けなど、ニュースで上がった翌日には朝礼で伝え、情報共有し、園での振り返りを行っている。(飲み込みやすい玩具は廃棄し、新たな玩具を全クラス購入済み)
- ・研修は公開保育など積極的に参加し、近隣の保育園・こども園に声を掛け、ブロック交流に参加して各学年ごとに情報共有している。
- ・保護者から要望の多かった駐輪所の屋根の設置は、法人本部に伝え対応の方向。

◎新卒OJT ・チェックリストを作成し行っていく

- ・進捗が見える化していく①基本業務②習得段階③何が出来て何が出来ないかを明確化し、小さな達成感を大切にしていく。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目		
				☑実施数	☐未実施数	
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	0
				2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	0
		2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7	0
				4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	0
		4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	0
				6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	0
				7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5	0
				8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	0
				9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	3	2
II	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	0
				11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4	0
				12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	0
		2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	0
				14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3	0
		3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	0
				16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0
		4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	0
				18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	0
				19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0
				20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	0
				21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容及方法に配慮している。	5	0
				22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容及方法に配慮している。	5	0
23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容及方法に配慮している。	5			0		
24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	4			0		
25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6			0		
26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	6			0		
5 安全管理	環境と衛生	27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	4	0		
		28 家庭との連携が十分図られている。	3	0		
		29 地域社会との連携が十分図られている。	3	0		
		30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	3	0		
		31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0		
		32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4	0		
		33 食育の推進に努めている。	5	0		
6 地域	地域子育て支援	34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	0		
		35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4	0		
		36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6	0		
		37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5	0		
		計	157	2		

項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>教育・保育目標や教育・保育方針を入園のしおりに明示し、職員に配布している。また、本館職員室前に掲示するなど、日常的に周知が図られている。職員に対しては新年度会議で一つひとつ確認し、理念・方針の共有を大切にしている。年度末には会議で反省を行うほか、年3回の職員ヒアリングでは職員ごとに振り返りを行うなど、継続的ながなされている。教育・保育目標や教育・保育方針に関する掲示や配布資料の見直しを図り、日々の実践でさらに活かされるよう期待したい。</p>	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>教育・保育目標、教育・保育方針は、入園のしおりに配布し、入園時の説明や懇談会で保護者に丁寧に伝えている。また、子ども主体の保育実践の様子を、活動プロセスごとにキッズリー等で定期的に発信し、理解を深めている。水遊びや風船遊び、お店屋さんごっこなど、子どもの姿にコメントを添えて月1~2回配信し、実際に保護者が活動を見て感じ取れるよう工夫されている。さらに園だより・保健だより・給食だより等を定期的に配布することで、具体的な取り組みを伝えている。</p>	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>年度事業計画は、園運営の基本方針や体制、研修、防災、給食等を網羅し、前年度の自己評価や職員アンケート、保護者の行事アンケート結果等を踏まえて策定されている。職員からの声を受けて、ICT化の推進や外部講師によるECC導入といった具体的な改善が図られ、職員の意見が形になる環境が整えられている。事業計画は職員室カウンターに常時設置し閲覧できるほか、年初会議で内容を周知するなど、透明性のある運営が行われている。重点課題として保育一元化や世代間交流、小学校との接続なども掲げている。</p>	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組む指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>理念の実現と保育の質の向上を図るため、年3回の職員ヒアリングや自己評価を実施し、各自の実践を振り返る機会を設けている。職員会議や保育会議ではテーマを設定したグループワークを実施し、「朝ぐずる子への対応」や「気になる子の行動」等、実際の保育課題を共有し合う場として活用している。司会やテーマ設定は職員が持ち回りで担い、1年目職員も積極的に参画できる仕組みが整っている。園長・副園長・教頭は日々保育室を巡回し、職員や子どもの様子を観察しながら助言を行うなど、現場に寄り添った支援と指導を行っており、肯定的な人間関係の構築と職員の働き甲斐向上につながっている。</p>	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的に行い、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>就業規則や服務規程、ハラスメント防止規定などにおいて職員が遵守すべき法令や倫理を明示しており、年度初めの会議で全職員に対して重要事項の説明を行っている。特に、個人情報保護に関しては入職時に説明を行い、確認書への署名を通じて周知徹底が図られている。写真共有アプリの使用に際しても、教頭が画像を確認する体制が取られており、適切な運用がなされている。職場内では、必要に応じて個別に指導を行うほか、会議での周知も行い、プライバシー保護の考え方について浸透を図っている。</p>	

6	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>ICT化を積極的に推進し、日誌や月案、連絡帳、健康チェック表等の業務を効率化するとともに、職員の負担軽減に努めている。就労状況は毎月確認され、有給休暇の取得が進まない職員には個別に声かけを行い、リフレッシュ休暇の取得も促進している。法人全体の改善提案を受けて、年間休日数が4日増加するなど制度面の整備も進んでいる。また、フリー職員や扶養内勤務者の増員により、業務の柔軟な対応が可能な体制が構築されている。園長・教頭は日常的に声かけを行い、職員の様子に目を配ることで、相談しやすい環境づくりに取り組んでいる。こうした一連の取り組みは、職員の働きやすさと就労環境の向上に繋がっている。</p>		
7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>法人本部および法人内3園の連携体制のもと、人事を計画的かつ組織的に実施している。職員評価においては、キャリアパスシートに基づき、能力や職務内容、任用要件を明示したうえで評価基準が設定されている。自己評価では、教育目標、学年・クラス運営、保育指導、行事、指導計画、家庭・地域との連携、環境について29項目にわたる設問に対し4段階で評価を行い、反省点や次年度の課題を記述する形式で実施されている。フィードバックは個別面談を通じて丁寧に行われ、評価の透明性と納得性が担保されている。また、今年度は給与面の改善も実施され、働きがいのある環境整備が図られている。</p>		
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>採用委員会を通じて、福祉人材の確保に向けた組織的な取り組みを行っている。採用活動は養成校訪問や就職フェア参加などを通じて積極的に進められている。毎年の新卒採用に向け、千葉県内および都内の養成校を対象に見学会や運動会見学などの機会を設けており、実習生の受け入れも積極的である。新人職員には、入職前に理念や倫理、保護者対応、気になる子どもへの対応等に関する研修を実施し、実務導入の不安を軽減している。入職後も定期的な面談を通じて職員の声を把握し、職場環境の改善に繋げている。さらに、職員会議やグループ対話を活用し、看護師・栄養士との連携を含む実務的な学びの機会を設け、定着支援と資質向上に努めている。</p>		
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>職員の段階的成長を支援する方針を明示し、新人には基礎的な研修、2年目以降にはリーダーやマネジメント研修と、年次に応じたスキルアップを計画的に推進している。OJTでは、サブリーダーが新卒・新人職員を担当し、到達状況を把握しながら必要に応じて個別に習得項目や目標を設定し、習得状況に応じた指導が行われている。習得項目を明示し、計画的に実施することで、より効果的なOJTの実施を期待したい。また、外部研修としては、八千代市民間保育協議会や習志野市主催の幼保合同研修等への参加実績もあり、保育実務に直結するテーマを取り入れている。キャリアアップ研修については、半数以上の職員が4分野を受講するなど、主体的な学びも見られ、実践力の向上に寄与している。</p>		
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的な人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
<p>(評価コメント)</p> <p>子どもの年齢や発達段階に応じた関わりを大切にし、一人ひとりの気持ちや思いに寄り添うことを保育の基本姿勢としている。日常の援助では選択肢を提示したり、意思を確認するなど、子どもが自分の意思を尊重されていると感じられる関係づくりに努めている。職員会議や朝礼では、不適切な保育の防止や虐待リスクに関する具体的な事例を取り上げ、市からのフローチャート資料も活用しながら継続的に研修を実施している。特に、言葉が一つにも配慮を求める姿勢が徹底されており、子どもや保護者が聞いて不快に感じる表現を耳にすることがあった際は、都度共有し、改善を促している。</p>		

11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の利用目的を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント)			
個人情報保護に関する規程を整備し、保護者には入園のしおりの重要事項説明書を通じて方針を明示し、入園時に承諾書を取得している。また、春の懇談会や行事前の案内等、節目ごとに改めて説明を行い、理解の浸透に努めている。職員には服務規程に基づき守秘義務を課し、実習生、ボランティア、等の外部関係者に対しても、周知徹底が図られている。さらに、園内での写真・動画撮影は原則禁止としており、各クラスの入口に撮影の注意を促す掲示がなされている。こうした多面的な取り組みにより、個人情報保護への意識と実践が組織全体に浸透している。			
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント)			
保護者の満足度を把握し、サービス改善に活かすための仕組みを整えている。行事終了後には自由記述形式のアンケートを実施し、寄せられた意見や要望を分析のうえ保育内容の見直しに反映している。また、日常的な送迎時や面談等での対話を通じて保護者の声を丁寧に受け止めており、個別の相談は児童票に記録、苦情は専用の苦情受付録に記載し、記録として管理されている。			
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント)			
入園のしおりの入園説明会を通じて苦情受付体制を明示し、保護者に周知している。苦情受付担当は園長・副園長が務め、申出内容には丁寧に対応している。また、必要に応じて朝礼等で職員間での共有を図り、対応の進捗を組織的に見守る体制が整備されている。苦情内容や対応状況は苦情受付書に記録され、改善が困難な場合には法人の第三者委員会への紹介により、公正性を確保する対応もなされている。また、苦情対応マニュアルの整備もあり、対応の標準化が図られている。なお、本館入口には窓口の掲示があるが、別の出入口にも掲示するなど視認性の向上を図ることで、さらなる体制強化が期待される。			
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
施設長は年に3回、職員のヒアリングをおこなっている。ヒアリングでは、業務内容や人間関係を含む職員の声や意見を聞くことで、現状や課題を把握することができている。また、実際に園長等が保育室に入って課題を確認し、解決に向けた取り組みができるようにきっかけを作っている。年度末には、教育および保育内容の自己評価を通じて、各職員が振り返りをおこなっている。さらに、各会議の中で職員から出された意見を全体の課題として取り上げ、教育および保育の質の向上に向けて改善を進めている。第三者評価の結果は、文書にまとめて職員や保護者に公表している。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
子どもの生命に関わる怪我、嘔吐処理、アレルギー対応などの保健や給食に関するマニュアルがあり、さらに早番・遅番の仕事内容、土曜保育の流れや業務内容など、教育及び保育に必要な内容が明記された手順書も用意されている。マニュアルや手順書は年度の初めに各部署ごとに確認することで、全職員が共通の認識を持って業務に当たることができている。また、マニュアルの内容に関して気づきがあった場合は、その都度意見を出し合い、会議で検討した上で必要な改善をおこない、全職員に周知している。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント)			
見学の予約や問い合わせは、ホームページまたは電話で受け付けている。その際の対応は主に園長、副園長、教頭がおこない、丁寧に問い合わせ内容を聞きとり、正確な情報提供に努めている。地域子育て支援事業の「みはな広場」や「子育てふれあい広場」の利用者も含めて見学希望者には、園のパンフレットで概要を説明しながら園内を案内し、その際にわからないことや質問には丁寧に答えている。入園の希望がある場合は「入園のしおり」を用いて、行事の内容や遊び、食事、持ち物、生活全般などをさらに詳しく伝えている。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント)			
年度初めに入園説明会をおこない、「入園のしおり(重要事項)」を基に、教育・保育目標やその内容、1日の流れ、年間行事、健康管理、給食、防災について丁寧に説明し、保護者は納得した上で同意書を提出する。質疑応答の時間を設け、保護者から寄せられた声や意見については記録として残し、教育や保育、または今後のサービス提供の参考としている。利用を開始するにあたっては、まず園が提供する教育及び保育の思いを伝えるとともに、学年便りや通信アプリ等を活用して子どもの様子具体的にお知らせしていくことを説明している。			

18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント) 全体的な計画は教育課程を含み、理念、方針、目標及び発達に沿った5領域の保育内容が盛り込まれている。子どもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成され、年度末に学年で話し合い、素案を提出し、全員が参画の全体会議で協議、確認をおこなっている。全体的な計画から年間計画、月案を立案し、0・1・2才児においては個別計画を立てる。幼児クラスにおいても必要に応じて個別の計画を立てたり、週日案で個別的に取り上げ記載する中で個々への配慮をしている。5歳児の小学校連携も載せ、就学に当たっての取り組み内容も組み込まれている。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要な子どもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント) 全体的な計画をもとに年間指導計画、月案、週日案を作成している。年間指導計画はねらいや養護と教育を意識した内容、職員の関わり、環境構成が位置づけられ月案から週日案へと落とし込んでいる。個別計画や支援計画も連携して作成している。これらはクラス、会議で振り返り、共有して次へと繋いでいる。園長、副園長、教頭はクラスの様子を把握し向上につながる助言を心がけているが、今後さらに日誌でのエピソード記述などから子どもの主体的な育ちの視点を共有し、様々な場面での対話を重ねることで質の向上に繋げていくよう期待する。			
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場所用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
(評価コメント) 園内は広々とした園庭で自然に触れながら思い切り遊べる環境がある。その一角にある0,1歳児の園庭は、仕切ることによって安全性が確保されると同時に、大きい子の遊ぶ様子を見て刺激を受けられるようになっている。室内においては発達段階に合わせた遊具や教材が用意され、子どもが自分の興味や関心に応じて遊びを選べる環境となっている。また、3歳以上児クラスでは子どもの要求に耳を傾け、子ども主体で遊びが継続して楽しめるような配慮や環境設定がされており、保育教諭は指示命令ではなく、肯定的な言葉がけで子どもの気持ちを受け止めるよう心がけている。			
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることでできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント) 子ども一人ひとりに寄り添った温かい関わりとともに、安心安全な環境や衛生面に留意した保育を心がけている。また、五感を刺激するような玩具(布製の玩具、音の出るもの、マット、ボールなど)や探索を促すトンネルやボールプール、年齢や発達段階に応じた寝る場所や這う、動くスペース、静かなコーナーなどを確保し、きめ細やかな配慮のもとで活動している。子どもに関する情報共有については毎日の中で時間を設けて話し合い、保護者に丁寧に伝えるようにしている。また通信アプリや送迎時の会話等で保護者との連携や支援にも努めている。			
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周知の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント) 恵まれた園庭を最大限活用し、思い切り遊べる時間を確保するとともに、室内では社会性を育むごっこ遊び等の設定に加え、感覚、認知の発達を促し色や形の違いを体験できるブロックや積み木、絵本コーナーがある。コーナーは子どもが選び、じっくり遊べるよう、棚で区分けをして玩具をわかりやすく配置している。保育教諭は子ども一人ひとりの成長発達について共通理解をしたうえで保護者とも連携し、子どもの自分でやろうとする気持ちを大切に育てている。特に基本的な生活習慣では先走らず、介入のタイミングを適切に図りながら見守り、関わるよう心がけている。			

23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他の子どもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの興味や関心を引き出すことができるよう、子どもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。

(評価コメント)
 自主的に遊べるよう環境を整えながら3、4歳児は自分でやりたいという気持ちを尊重し、可能な限りいろいろなことにチャレンジできるように見守り、できないことをサポートしたり、また、友だち同士のトラブルについては子どもの気持ちに寄り添った対応を心がけている。5歳児は集団生活の中で話し合いを進めたり、友だちと協力して一つのことをやり遂げる力を育み、達成感を味わえるようにしている。また、学校と連携しながら就学に向けた活動も段階的に取り入れている。保護者にも日々の子どもの様子を発信し、協力体制が得られるように心がけている。

24	身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。

(評価コメント)
 園庭や近隣の散歩を通じて、季節の草花や虫などの自然と触れ合う機会を大切にしている。園内にある畑では、子どもたちが苗を植え、水やりをしながら植物の成長を観察し、収穫する体験を通じて自然への興味や命の大切さに気づく様子が見られる。また、近隣の高齢者施設との交流では、ふれあい遊びなどを楽しんでいる。納涼大会には職員が「手伝い」として参加し、地域のイベントに園児が作った作品を飾ってもらったり、公共施設を見学したり、散歩の際に地域の人々と会話を交わすなど、地域の一員として豊かな社会体験をしている。

25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	子ども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、子ども達同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
<input checked="" type="checkbox"/>	異年齢の子どもとの交流が行われている。		

(評価コメント)
 0歳児からの積み重ねを大切にしており、人と人との温かな関わりの中から信頼関係が生まれ、人を大切にする心が育まれることを意識して教育及び保育を進めている。活動ではルールのある集団遊びや、友だちと一緒に楽しむ機会を取り入れ、子ども同士が自然に関わりあいながら遊べるような環境を整えている。また、トラブルがあった際には保育教諭が仲立ちし、相手の気持ちに気づくことや自分の気持ちを伝えることの大切さを伝えている。園庭使用について検討し異年齢と一緒に遊ぶ時間を設けたことで年齢を超えた子ども同士の関わりが広がっている。

26	特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	子ども同士の関わりに対して配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。		

(評価コメント)
 個別支援計画は、保護者の理解と意向を最優先に考え、市の専門員の助言を受けながら作成している。子どもに関する記録は日誌に残し、変化や成長については毎月振り返りを行い、記録に残している。保育会議や職員会議を通じて、対象児の様子を共有している。担当者は市の支援員研修に参加し、他の職員に対してフィードバックを行っている。法人専属の児童発達支援アドバイザーと連携し、支援方法について定期的、継続的に助言を受けている。

27	保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当職員の研修が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。

(評価コメント)
 滞在時間が異なる子どもたちがともに過ごしているため、3歳未満の子どもは個々の生活リズムに配慮し、3歳以上の子どもには好きな遊びを楽しむ場とリラックスできる場を確保している。異年齢の合同保育の中では、机や床を利用して遊ぶための玩具を用意している。思いやりや憧れの感情を受け入れつつ、安心して過ごせるように配慮している。遅番保育教諭への引継ぎは口頭と安全確認簿、さらに付箋を用いておこない、担当者は日中の生活に関する特記事項や申し送り事項を確認し、保護者に口頭で伝達している。

28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、子どもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。

(評価コメント)
 子どもの成長と保護者の安心を支えるために、朝夕のコミュニケーションや連絡帳でのやり取りを重視し、信頼関係を深めている。また、年に2回の個別面談をおこない、加えて0～2歳児には教育及び保育参観、3～5歳児には教育及び保育参加を実施して、教育及び保育の様子を見てもらっている。個別面談の内容は詳細に記録し、入園から卒園までの内容を綴っている。外国にルーツを持つ家庭とは、互いの理解に齟齬が生じないように「翻訳アプリ」を使用しコミュニケーションをとっている。

29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	就学に向けて、保育所等の子どもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定子ども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などを保育所等から小学校へ送付している。
(評価コメント)			
園と小学校が隣接しているため、子どもたちは小学校から聞こえる子どもたちの声や音楽を楽しんだり、校庭での活動を目にする中で、小学校を身近に感じている。5歳児の担任は、年に3回行われる子保小連携会議において、子どもの姿や取組みについて情報を交換し、園の教育及び保育と小学校の教育について相互理解を深めている。小学校への円滑な移行を促進するために、保育所児童保育要録を送付している。			
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント)			
職員は登降園時に保護者との会話や子どもの表情、衣服の状態、怪我の有無などを観察し、怪我や傷を発見した際には保護者に確認することで家庭での不適切な養育の兆候や虐待を把握するよう努めている。また、園における子どもの言動や他の子どもとの関わりに変化が見られた場合にも教頭や副園長、園長などの上層部に報告するしくみが整っている。園は所管課と連携しながら、子どもを継続的に観察し、記録に残すとともに必要な支援へと繋げることとしている。			
31	子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じて子どもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント)			
「成長・発達の現状チェックリスト」を使用して、各個人の発達を確認した後、園医による定期健診を実施している。日々の健康状態は、連絡帳アプリの確認や受け入れ時の保護者からの聞き取り、さらに午前と午後の看護師による巡回および検温によって把握している。SIDSについては、入園説明会で保護者に説明し、職員には4月と11月に注意喚起を図っている。年齢にかかわらず、子どもの睡眠中には、呼吸や顔色などを確認し、記録を残している。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医や子どものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)			
感染症が発生した際の事業継続計画については、見直しを行う予定である。教育及び保育中に通常とは異なる様子を示した子どもに対しては、保護者に状況を報告し、看護スペース等において看護師のもとで安静にさせ、必要に応じて迎えを依頼している。感染症の発生が確認された場合、まず対象クラスの保護者に通知をおこなう。感染症が広がった場合には、園医や該当の担当課に連絡を取り、指示を受けるとともに、全園児に周知をおこなっている。必要最低限の救急用の薬品等を備えた救急箱は医務室の他、各保育室の子ども手の届かない場所に備えている。			
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のある子どもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)			
食育を教育および保育の計画に組み込み、園全体で取り組んでいる。幼児たちは園庭でキュウリやナスなどの夏野菜やさつまいぶを育て、収穫を体験している。収穫した野菜は調理室で調理され、また、子どもたちが教育及び保育の中で調理を行うことを通じて、食に関わることを子どもの生活の一部として取り入れている。さらに「安心・安全」な食事を提供するために、家庭、保育者、調理室が密に連携し、一人ひとりの発達や健康状態に応じた調理方法を工夫している。「皆と一緒に楽しく食べる」という目標のもと、食事を楽しむことを促進している。			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子ども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、子どもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント)			
午前と午後室温と湿度のチェックをおこない、子どもたちが快適に過ごせる環境を整えている。採光やCO2の管理については、年に1回学校薬剤師に測定してもらい季節に関わらず、適宜喚起をおこなう旨、助言を受けている。多くの子どもが使用するおもちゃは、0、1歳児は朝夕、他の学年でも最低でも週に1回は消毒、洗濯する等適切な方法で管理している。また、子ども自身が手洗いの重要性を理解し、積極的に取り組めるよう保健指導をおこなっている。保育室内での落下防止や家具の転倒防止にも取り組んでいる。			

35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント)			
事故発生時の対応マニュアルに則り、怪我が発生した場合、事故報告書に記録している。記録の際には、対象のクラス内で話し合い、翌日の朝礼で報告し、事故の詳細と再発防止策について共有している。園内のおもちゃについては、定期的に安全点検を行い、誤飲の恐れのある物や破損しているものを確認し、廃棄及び修理するなど適切に対応している。玄関のオートロックと監視カメラを利用して、訪問者を遠隔で確認している。さらに、不審者侵入対応訓練を月に1回実施し、有事に備えている。			
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント)			
全職員が大地震の発生に備えて「サバイバルカード」を所持し、適切な行動が取れるようにしている。事業継続計画は実情に基づいて見直しをおこなう予定である。あらゆる災害を想定した避難訓練を実施し、同時に初期消火訓練もおこなっている。年に一度、消防署との合同訓練を実施している。園の周辺にあるハザードマップを廊下に掲示し、職員や保護者の意識を高める取り組みをおこなっている。非常持ち出し袋や緊急連絡先を備えている。			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
地域の未就園児が集まる場所として「子育てふれあい広場」を月に1回、園庭開放「みはな広場」を月に3回実施し、さらに入園を検討している家庭向けにプレ保育をおこなっている。地域の保健センターや福祉関連機関と連携しており、保健師が転入家庭を訪問した際に交流の場として園が紹介されるしくみがある。園を訪れた保護者に子育てに関する悩みや不安がある場合には、看護師や栄養士、保育教諭が話を聞き、サポートを行う体制を整えている。			